



中央聖書神学校 Central Bible College

CBC後援会だより

信徒として私たちが のできる働き

中央聖書神学校後援会会長

峰田 将



激動と混乱
の中、世界は
まさに終末の

様相を呈しています。いよいよ最後の
刈入れの時を迎えているのではないか
と思います。しかし現状は、まさに刈
り入れが多いが働き人は少ないとい
う姿です。私たち一人一人が、その与え
られている持ち場を大事に守らなけれ
ばならないと思います。

しかし何よりも大切なのは、一人
でも多くの方々が福音宣教の第一線に
出ていくことです。私はそのような器
がさらに増やされ、多くの方々が献身
し、神学校に入学されることを祈るこ
と切なるものがあります。定年を控え
た方も、若い働き盛りの方々も是非と
もこの学び舎に来ていただきたいもの
です。

しかし、直接第一線に出ることの
できない者としては、私たちの代わり

に働き場に出て行って頂くそれらの
方々が、少しでも後顧の憂いなく神学
校での学びを進められるよう支援して
いくべき責務を覚えます。

全てをなげうって主のために働こ
うと献身され、神学校に入学された神
学生は、その時点から収入ゼロの生活
になります。献身に備えて蓄えてこら
れた貯蓄にも限度があります。入学す
ると寮生活をするようになります。そ
の寮費(年480,000円)と授業
料(年216,000円)が必要にな
り、さらには学びのための書籍代など
大きな負担となります。私たち後援会
では、献身される方々が安心して勉学
に打ち込めるよう、奨学金制度をさら
に充実させお支えしていきたいと願っ
ております。そのために、一人でも多
くの方々が後援会に加入され、その財
政基盤をより強固なものにしていく
ようにご協力くださいますようお願い
申し上げます。

現在後援会に加入しておられる会
員は個人会員(賛助会員を含む)が
270名になります。現在アッセン
ブリー教団の信徒数はおよそ13,
000人を超えと言われていますので、
およそその2%の方が会員になっ

通常総会報告

て頂いていることとなります。私は後
援会の安定的な支援継続のためには、
この数がせめて1,000人程度まで
高まることを願う祈りのものです。
どうぞ皆様もお祈りのうちに覚え、
献身の思いを込めて後援会にご入会く
ださいますようお願い申し上げます。

2018年2月24日(土)、中央
聖書神学校チャペルにて 出席者数
189名(会場出席21名、委任状出
席168名)で総会が執り行われ、す
べての議案が総会資料記載の通り決議
されましたので報告いたします。

但し、第5号議案については、予
算書の支出合計の金額が収入合計と異
なるとの指摘を受け、精査したところ、
合計計算の誤りであることが確認でき
ました。よって、支出合計金額を4,
189,589円と訂正しました。

★交流・意見交換

総会後には、交流会を行いました。

★後援会総会の前に持たれたCBCタ
イムでお証を頂きましたので次ページ
に報告します。なお、肖像写真は神学
校のフェイスブックから、ご本人の承
諾を頂き転載したものです。

後援会への感謝

★福山キリスト教会 伝道師

上本 亮

(2018年3月卒業)



皆さん、こんにちは。中央聖書神学校

三年生の上本亮です。

いつも私たち神学生のためにお祈りしていただき、また尊い献金でサポートしていただき本当にありがとうございます。卒業を前にしてこれまでの三年間、無事に守られました。

少しばかりの時間ではありますが、今からお証しさせていただきます。

私は神学校に入る前までは企業に勤めて働いていたのですが、最初は全く貯金しておらず、献身を決めてから貯金を始めたので入学した時に貯金は3年間持つか持たないかわからないという予想していました。

なので後援会の奨学金を借り、授業料のことで心配することはありませんでした。ところが、参考書や神学書を購入したり、私のお金の使い方未熟だったこともあり、どんどんお金は減っていききました。三年目に入った時に

はダビデの石からも奨学金をお借りしてなんとか乗り切るしかないのかなど不安と焦りを覚えていました。

丁度そのころ、サポートが縮小されることとなりました。それを聞いた時、私は真つ青になって血の気が引くのが分かりました。その時期は真夏でしたが、寒さを感じるくらいでした。

「そんなことしたらお金が尽きて無くなってしまふ…無理です、なんとか道を開いてください」と祈りましたが、神様から答えはなく、「払ったらいいんですか」と祈ると心に平安がきました。不安も恐れもあつたけれど、神様がなんとかしてくれる、と信じてあとは委ねました。

一時期は本当にギリ貧で厳しい時もありましたが、神様は私の経済を祝福され、今も決して裕福ではないけれど心配しなくてもいいほどまで貯蓄も増え、神様は私の経済を守られました。何の憂いもなく、もうすぐ卒業の時期を迎えることができることを主に感謝しています。

また、経済を支えていただいただけではなく、私個人としても昨年は学生会会長をさせていただき、後援会の皆様とは入学式や卒業式、全国聖会と言った様々な機会に関わらせていただ

き、私にとつて後援会の皆様は家族であり、仲間であり、神学生と後援会は一つだという思いがあります。三年間を通じて、良い関係を持たせていただいたことを心から感謝しております。

そして昨年は神学生の奉仕の時間に前に立たせていただき、今年は感謝の恵みを証させていただくこととなり、神様のなさることは本当に不思議だなあとしみじみ感じています。

これからも神学生の神の家族として、支えていただけたら幸いです。また、私も祈っていたら、支えていただき、多くの恵みを受け取りました。卒業してからはこれまでの受けた恵みを流していき、支える立場になっていきたいです。

三年間、本当にありがとうございました。心より感謝します。主にすべての栄光をお返しして私の証とさせていただきます。

★本渡基督教会 伝道師

中山 雄

(2018年3月卒業)



こんにちは。私は北海道にります岩見沢神

召キリスト教会出身の中山雄と申します。

後援会の皆様には、お祈りと貴い献げものにより神学生を支えていただき、心から感謝致します。神学生になると、派遣先やキャラバン等で教会にお邪魔する機会が多くあるのですが、そこで掲示板に神学校の「祈りのリクエスト」が貼ってあり、教会員の方々から「いつも祈っています」、「後援会に入っています」とお声をかけていただくことがあります。その度に、私は神学生が教会の皆様を支えられていることを強く実感し、とても励まされております。

私は三年前に中央聖書神学校の本科に入学しましたが、その時は通信科に入学するという選択肢もありました。しかし、私の心には「鉄は鉄によつてとがれ、人はその友によつてとがれる」(箴言一七章一七節)とのみことばがあり、自分が伝道者になるためにはとがれなければならぬ部分が多くなると感じていました。そこで、寮生活があつて、友と過ごす時間(友によつてとがれる時間)の多い本科へ入学することにしました。

神学校を卒業した今、本科で過ごした三年間を振り返ってみると、と

でも濃い学びと訓練の時であったと思います。沢山恵まれた毎朝のチャペル、盛り上がった授業、夜中まで続いた神学談義、涙を流して祈り合った祈祷会、神学校対抗ソフトボール大会の優勝など、挙げればきりがない程の多くの思い出が詰まった三年間でした。もちろん楽しいことばかりではなく、課題や奉仕による忙しい日々があり、寮生活の中で自分の弱さや足りなさや直面し、悩み苦しむ時がありました。自分はこの先本当に伝道者としてやっていけるのだろうかと考えたり、自分の未熟さゆえに友とぶつかったりしたことは、自分にとって辛い経験でした。しかし、このような経験を通して自分と向き合い、人と向き合い、神様と向き合う中で自分のとがっていた部分とがれていき、神学校を卒業して、伝道者としての一歩を踏み出すことが出来ました。私がかつてこれまでこれらは皆様のお祈りのお陰であり、私たちのためにお祈りくださった母教会、神学校、後援会、派遣先教会、全国の教会の方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

特に、後援会の方々には、経済的な支援においても大変お世話になり

ました。私は五年間社会人として働き、神学校生活のために十分に貯えてから神学校に入学しました。そのため、お金の心配はしていなかったのですが、いざ生活してみると、年金や健康保険料の支払い、神学書の購入などで予想以上にお金がかかってしまいました。しかし、後援会の援助により、学びのために十分にお金をかけることが出来て、必要が満たされました。貴い献げものによるご支援を心から感謝申し上げます。

神学校を卒業した今、私は支えらる側から支える側に回りたいと思っております。一人の伝道者を送り出すために献身者を支えるという後援会の貴い働きが、日本宣教のため、世界宣教のために今後も続けられていくことを願い、主に在って期待しております。

神学生への感謝

十条キリスト教会

富山 均

私は長い間、後援会の存在を意識していませんでしたが、4年前、信徒中心に体制変更されてから、同じ教会の

後援会役員に勧められ会員となりました。今、私も役員として「後援会だより」の発送など事務作業を担当させて頂いています。宣教の担い手である伝道者が続々と起こされ、駒込の中央聖書神学校(以下CBC)で学ぶ姿を思い、祈りの手を挙げています。私には神学生に対して特別な思いがあります。1987年の秋、34歳の時に、病気療養中にCBCと同じ敷地にある中央聖書教会に導かれました。当時、CBCには40名ほどの神学生が学び、校内はいつも熱気に溢れているようで、中央聖書教会にも常時3名の神学生が日曜派遣されていました。

私は、それまでの人生での悩みなどもあり、色々な宗教・セミナーに興味を持っていました。キリスト教に対する疑問もあつた気難しい求道者の私を、神学生たちはいつも個人伝道してくれました。時々、仕事のため礼拝を休む事があつた時には、必ず、「訪問伝道班」が家まで来て、妻に「来週、教会でお待ちしています」と言葉を残して帰る、本当に「しつこい伝道」をする神学生たちでした。でも、私たちの事をいつも気にかけ、真剣に祈ってくれる人がいることを知ってから、心が徐々に和んで行き、教会に通い続

けました。その結果、神様を受け入れ、翌年の6月に夫婦そろって洗礼を受けることが出来たのは、ただただ神学生たちの働きに感謝でした。それ以来、CBCと神学生のために祈りの手を上げ、卒業式には欠かさず出席、「伝道者として生涯を全う出来ますように」と祈らせて頂いています。

数年前に夫婦共に定年を迎え、いつか神学生を直接支える働きをしたいと祈っていた時、思いがけず神学校から声をかけて頂き、現在、私も妻も神学校のスタッフとしてご奉仕する恵みを与えて頂きました。

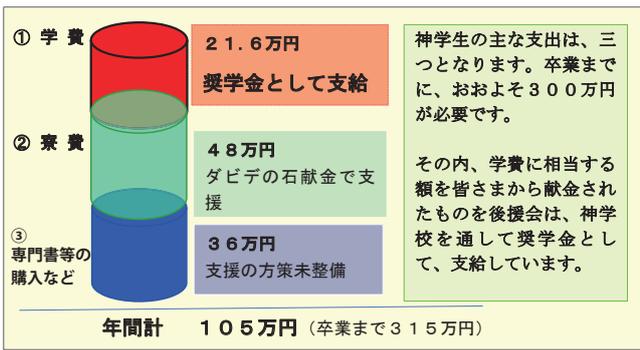
今、CBC本科には留学生、他教団委託生を合わせて9名が学んでいます。献身者がさらに多く起こされ、駒込キャンパスが神学生たちの声で、騒々しいほど活気づくように祈ります。また、それを支える後援会に教会・信徒・企業の会員数が増し加えられ、学費面で憂いなく学べる環境を維持できるように祈り続けたいと思います。



富山夫妻 (CBCにて)

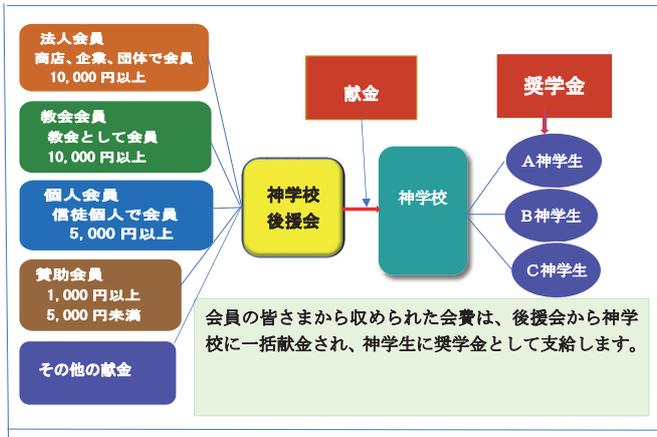
中央聖書神学校後援会会員になって奨学金支援にご協力願います！

1. 本科・神学生が一年間に支出する必要経費は概算次の通りです。



2. 皆様の会費を原資として後援会から神学校に献金し、学費奨学金としています。

それぞれの持ち場立場で、会費を納めて頂き、会員となって下さい。



会員名の掲載について

昨今の情勢から個人情報等の非公開を望む声があり取扱いについて検討いたしました。会員名簿は後援会活動の基礎となるものです。そこで、会員名簿を年度の総会資料に掲載することといたします。匿名を望む方は「匿名姉・あるいは匿名兄」とします。2017年、18年の会員名簿は2019年2月開催総会資料として会員のみにお届けいたします。状況ご賢察のうえご了承賜りたく報告いたします。

会費納入状況報告

(2018年5月末日まで)
※年度計画は324万円です。

個人会員	129人	85万円
教会会員	19教会	45万2千500円
法人会員	4法人	23万円
賛助会員	21人	3万2千500円
合計		156万5千円 (計画比48%)

★後援会への理解を深めて、祈っていたらと共に会員となっていたらと、教会を訪問してアピールさせて戴きます。

JAG祈禱推進カード2018の7つの祈りの課題⑥では「中央聖書神学校(本科・通信科)、ろう者聖書学校の新入生・在学生の学びとCBC後援会の働きのため」としていただいています。後援会が皆様に祈っていただけたことは「会員が増えること」です。

そのために後援会では、2018年の重点活動として活動の報告と会員募集のアピールに時間をいただけた教会、教区聖会にお伺いしてアピールに力を入れることとしています。ご協力いただける教会は事務局までご連絡ください。お待ちしております。

なお、5月13日(日)には、松田副会長が広島基督教会(堀川寛牧師)を訪問し、アピールをさせて頂きました。

清掃ボランティア大募集

8月11日(土) 10時~14時

神学校校庭、校舎周辺の雑草刈りを行います。昨年度は手が回らないところを残したままで終了せざるを得ませんでした。今年はやり切りたいと願っ

ています。大勢の人手を必要としています。どうぞご支援をよろしくお願いたします。お子さまにもお手伝いいただける作業もありますので、大人も子供もご参加ください。

その後、皆様と共にバーベキューを楽しみ交流を図ります。

原稿大募集!!

後援会だよりには会員の皆様と、まだ会員になっていない方の意見や感想を掲載し、心一つにして祈って参りたいと願っています。①神学校に対する期待や感謝、②神学生の皆さまに対する感謝や励まし、期待など、③あるいは後援会に関する意見具申や提言など、短文で結構ですのでご寄稿をお願いします。郵送、メール添付等でお寄せください。できれば幸いです。

発行 中央聖書神学校後援会
所在地 〒170-0003
東京都豊島区駒込3-15-20
Tel 03-3918-4925
Fax 03-3918-4064
E-mail: cbc@ag-j.or.jp
編集 後援会委員会
印刷所 ベーテルフォト印刷(株)
発行日 2018年6月23日